

成績評価の方法と基準について

教務部

1. 成績評価

- シラバスの到達目標に対して、どの程度目標を達成しているかを評価するものです。
- 試験の成績を100点満点とし、60点以上を合格とします。
- 成績評価は5段階とし、90点以上を秀、80点以上を優、70点以上を良、60点以上を可、60点未満を不可とします。
- 成績評価が不可のとき、単位は与えられません。

2. 成績評価の方法

- 成績評価は試験によって行い、100点満点で評価します。
- 試験には、小テスト、中間試験、期末試験、レポート等課題の取組み、提出物、受講態度、等を含みます。
- 前記の試験の内、期末試験は授業期間とは別に試験期間を設けて行います。
- 試験の方法が複数ある場合は、その割合をシラバスで%表示します。
- 出席時数が3分の2に満たないときは、成績を不可とし、単位は与えられません。

3. 成績評価の基準

- 成績評価の基準を示すことは、学生が成績のレベルを認識し、成績評価への信頼を高め、自発的・意欲的に勉強するようになることを目的としています。
- 成績評価の基準はループリックで明示し、教員はこの基準に従って成績評価を行います。

評価基準	期待以上	十分に満足	やや努力の余地がある	努力の余地がある	相当の努力を要する
成績	秀	優	良	可	不可
内容	到達目標の水準を修得し、授業内容を超えた自主的な学修が認められる。	到達目標の水準をほぼ修得している。よく努力している。	到達目標の水準をほぼ修得しているが、やや努力の余地がある。	到達目標の水準をほぼ修得しているが、努力の余地がある。	到達目標に達していない。相当な学修が必要である。

以上